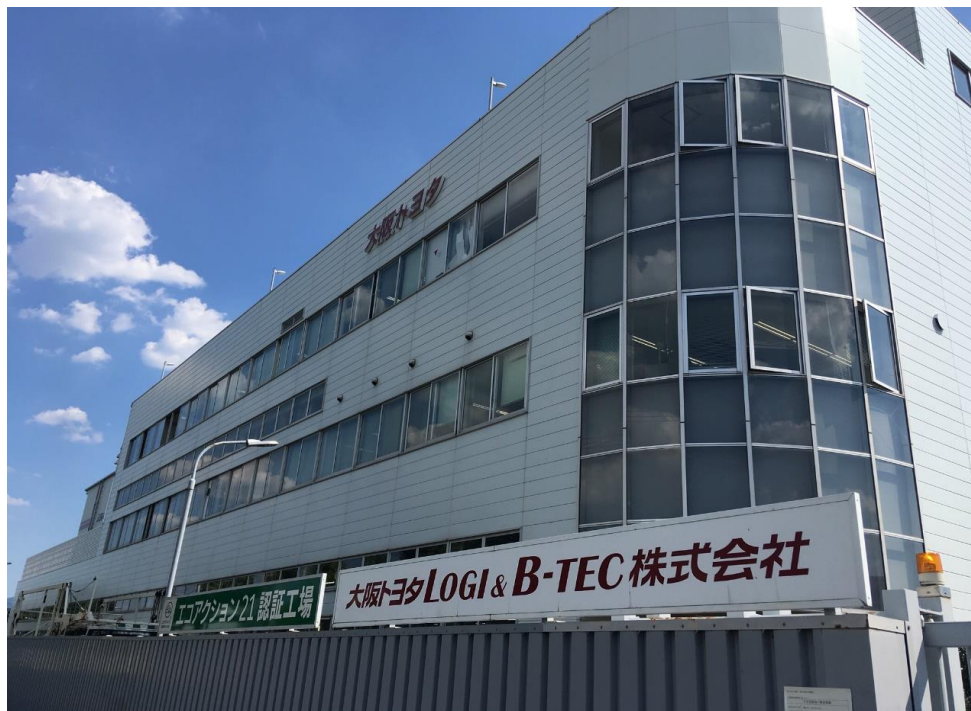


大阪トヨタLOGI&B-TEC株式会社

2020年度 環境経営レポート

(対象期間：2020年4月1日～2021年3月31日)



【 目 次 】

- P1：表紙
- P2：環境方針
- P3：組織の概要、認証・登録の対象組織・活動
- P4：環境推進委員会組織図
- P5：役割・責任権限
- P6：主な環境負荷の実績、環境目標及びその他の実績
- P7：環境活動計画及び取組結果とその評価、次年度の取組
- P8：
：環境関連法規等の遵守状況の評価の結果並びに違反、訴訟の有無
- P9：緊急事態対応訓練
- P10：代表者による全体の評価と見直し
- P11：環境活動等の紹介

作成日：2021年7月30日

基本理念

当社は大阪トヨタグループの一員として、安全と環境保全を、経営の最重要課題と位置づけ、自動車整備（新車点検・U-car 商品化）、自動車用品取付、輸送業務事業を常に作業改善を通して進化させ、環境変化に適応し地域に安全・安心を提供できる、企業を目指す。

基本方針

1. 事業活動が環境に与える影響を正しく認識し、環境方針を理解し、環境目的・目標を定めて、全従業員で継続的な改善活動に取り組む。
2. 環境に関する法律・規則・条例、並びにその他の要求事項として当社が同意した地域の取決めを遵守し、環境保全レベルの向上を図る。
3. 事業活動の全ての領域で、リサイクルの促進、水使用量の抑制を図り、廃棄物削減を目指し、省エネルギー・省資源に努める。
4. 塗料・シンナーなど、化学物質の管理及び使用削減に取り組む。
5. 電気使用量・ガス使用量の抑制、並びにエコドライブの促進に努め、CO₂排出量削減を図る。
6. 全従業員への教育により環境意識の高揚を図ると共に、環境保全活動を積極的に推進する。
7. 環境監査を実施して、環境管理の維持向上を図る。
8. 地域社会とのコミュニケーションを大切にし、地域のよりよい環境づくりに貢献する。

※ 全従業員とは・・・社員、パートナー会社、アルバイト、パート、契約社員などすべての者が対象

代表取締役専務



制 定 2020年 6月 22日

□組織の概要

更新日：2021年7月30日

(1) 名称及び代表者名

大阪トヨタLOGI & B-T E C株式会社

代表取締役専務 湯浅 勝久

(2) 所在地

本社・ラック工場・ロジスティック部：

大阪府 寝屋川市 仁和寺本町3丁目2番38号

(3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

責任者 取締役 藤木 秀一 TEL：072-828-1215

// 執行役員 松永 洋和 //

担当者 経営管理部長 井上 進 //

(4) 事業内容と規模

	新車整備部門 整備部 (ラック工場)	物流・輸送部門 ロジスティック部	経営管理部・ 整備部 営業・業務G (本社)	合計
売 上 高	3,880百万円	628百万円	—	4,509百万円
従 業 員 数	48人	45人	14人	107人
屋内作業場面積	5,066㎡	—	—	—
主 な 事 業 内 容	自動車整備、新車点検、用品取付、特装车製作、カーケア施工、板金塗装	新車・U-C a r・B P各車 両配送、社内文書配送、部品配送	—	—

(5) 事業年度

2020年4月1日～2021年3月31日

□認証・登録の対象組織・活動

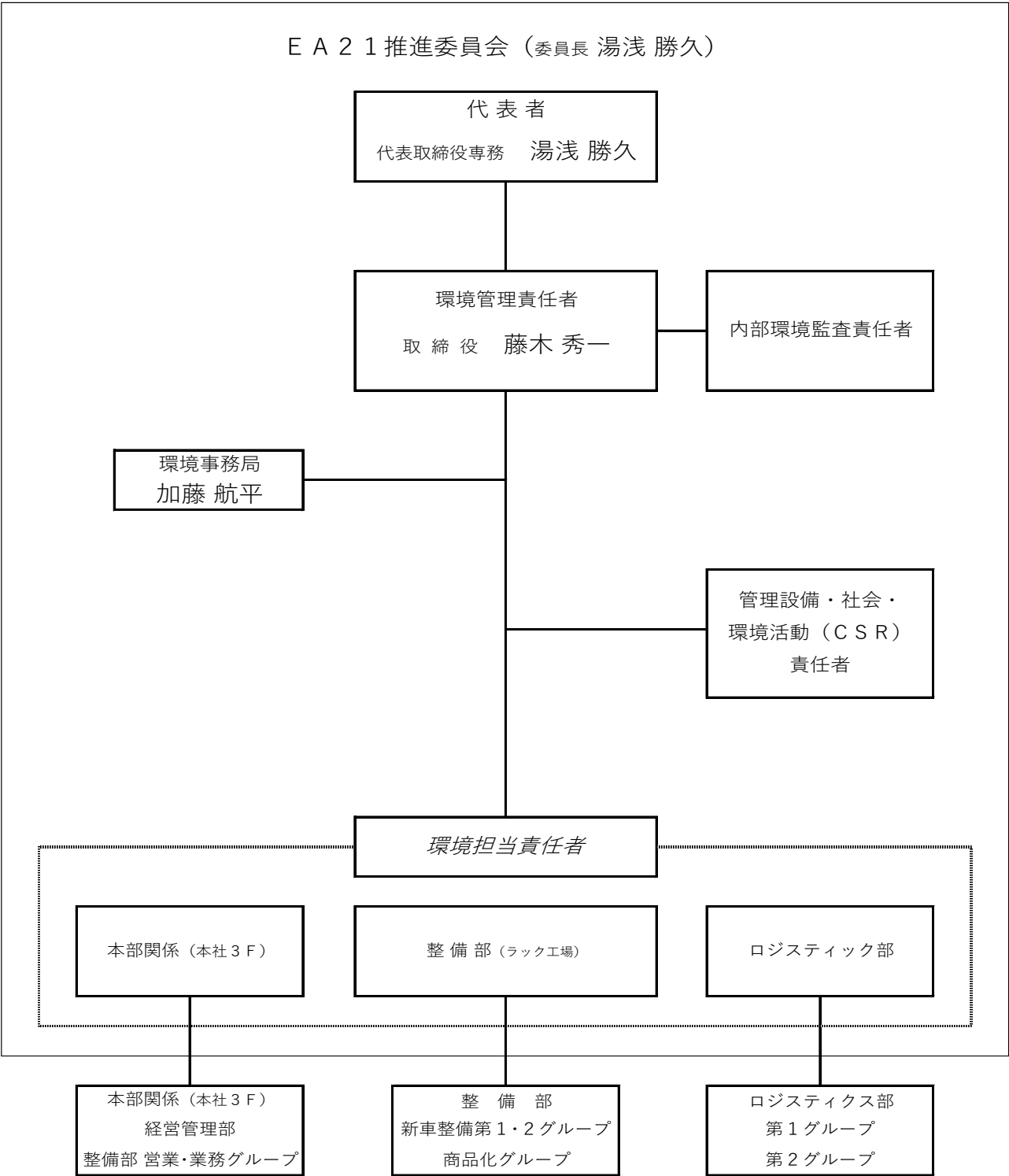
登録事業者名：大阪トヨタLOGI & B-T E C株式会社

対象事業所：本社・ラック工場・ロジスティック部

活 動：自動車整備・板金塗装・車両配送

□実施体制図及び役割・責任・権限表

環境推進委員会組織表



担 当	役 割 ・ 責 任 ・ 権 限
代 表 者	1. 環境方針を策定する。 2. EMS実施に必要な人、設備、費用、時間、技能、技術者を準備する。 3. 環境方針の定期的な見直し。 4. 代表者による全体の評価と見直しを実施する。 5. 環境体制組織及びEA21推進委員会組織の策定をする。 6. 環境管理責任者を任命する。 7. 環境活動レポートを承認する。
環境管理責任者	1. 代表者が環境方針を策定するにあたり助言を行う。 2. 環境活動レポートの確認をする。 3. 本環境マニュアルと関連文書に定める環境管理責任者の承認事項に関わる承認を行う。 4. 担当部門の各環境担当責任者を管理監督する。
管理設備・社会・ 環境活動（CSR） 責任者	1. 発生事案を、環境担当責任者から報告を受け、助言を行い速やかに 環境管理責任者に報告、指示を仰ぐ。 2. 本環境マニュアルと関連文書に定める社会・環境活動（CSR）責任者、 管理設備責任者の承認事項に関わる承認を行う。
環境担当責任者	1. 環境負荷の自己チェック及び環境への取組の自己チェックを行い、これらを基に 環境目標及び環境活動計画を策定し、事務局経由で環境管理責任者へ提出する。 2. 自部門に関する環境活動計画の進捗状況を管理する。 3. 本環境マニュアルと関連文書に定める環境担当責任者としての役割、責任及び 権限を行使する。 4. 日常の事業活動の中で環境対応に関する事項の運用、管理をする、並びにEMS の実績を事務局に提供する。
EA21推進委員会	1. EA21推進委員会は、原則年1回開催する。 2. EA21推進委員会の開催は委員長または、環境管理責任者が招集する。 3. EA21推進委員会では、当社におけるEMSの構築、運用状況についての報告と 審議並びに環境情報に関するコミュニケーションを行う。
EA21事務局	1. 環境管理責任者及び環境担当責任者にEMS見直しのための、情報の提供、 及び円滑なEMSの構築と運用を図るため、サポートを行う。 2. EA21推進委員会の事務局 3. EMSの構築とその運用。 4. 環境活動レポートの作成、公開（事務所に備付けと地域事務局への送付）。 5. 環境活動レポートの作成に必要な、データ、情報などを、各部から提供を受けまとめる。 6. 本環境マニュアルと関連文書に定める事務局の役割の行使および運営を行う。
内部環境監査責任者 （内部環境監査チーム 各部1名任命、計3名）	1. 内部監査責任者は環境に関する内部監査の計画を基本4月に行う。 2. 環境に関する内部監査の実施・報告を基本5月に行う。 3. 内部監査の結果に基づき改善項目の進捗状況を確認する。
全従業員	1. 環境方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚する。 2. 決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加する。

□主な環境負荷の実績

項 目	単位	2018年度
二酸化炭素総排出量	kg-CO2	1,138,656
廃棄物排出量	kg	440,418
一般廃棄物排出量	kg	75,855
産業廃棄物排出量	kg	364,563
総排水量	m ³	8,856

2020年度 環境活動 レポート
723,251
170,583
59,235
111,348
4,339

※電力の二酸化炭素排出量換算値 **0.334** kg-CO2/kWh (関西電力の2018年実績に基づく調整後排出係数)

□環境目標及びその実績

年 度		2018年度
項 目		(実績)
電力による二酸化炭素削減	kg-CO2	564,681
	基準年比	—
都市ガスによる二酸化炭素削減	kg-CO2	189,557
	基準年比	—
自動車燃料（ガソリン）による二酸化炭素削減	kg-CO2	31,801
	基準年比	—
自動車燃料（軽油）による二酸化炭素削減	kg-CO2	352,617
	基準年比	—
上記、二酸化炭素排出量合計	kg-CO2	1,138,656

2020年度環境レポート		2021年度
(目標)	(実績)	(目 標)
321,000	281,390 88%	267,000 95%
88,000	72,314 82%	68,000 94%
12,000	15,815 132%	15,000 95%
349,000	353,732 101%	336,000 95%
770,000	723,251	686,000

一般廃棄物の削減	kg	15,876
	基準年比	—
廃プラの削減	kg	285,718
	基準年比	—
水道水の削減	m ³	8,856
	基準年比	—
シンナー・塗料の使用量削減	kg	31,565
	基準年比	—
製品・サービスへの環境配慮	台	13,696
	基準年比	—

15,800	11,705 74%	10,800 92%
109,000	91,875 84%	87,000 95%
6,900	4,339 63%	4,000 92%
3,660	3,321 91%	3,100 93%
14,000	14,431 103%	14,400 100%

< 2018年度実績比較での二酸化炭素・廃棄物等の排出量の大幅減の要因 >
2019年3月をもってBP業務を大阪トヨタ自動車株式会社へ譲渡

□環境活動計画及び取組結果とその評価、次年度の取組内容

数値目標：○達成 ×未達成

活 動：○よくできた △さらに取組が必要 ×全くできなかった

取り組み計画	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
電力による二酸化炭素削減		
数値目標	○	【取組結果と評価】 実績：281,390 kg-co2（目標比：88%）
<長期目標（担当：整備部 新車整備第1グループ）> 新車作業工程を見直し、特にラック棟（自動車保管倉庫）への車両の出入庫回数の減に努める	○	新車工程管理等を利用し作業の流れを見直し、車両の出し入れ回数が減少。（2020年出し入れ回数116,400回（前年比94%））
・場内エアコン電力消費量削減	○	【次年度の取組】 1日の生産性最大化を図るため、工場カレンダーを変更し、空調機等の機器使用時間削減を図る（工場稼働日▲45日 前年300日から255日）
・空調温度の適正化 継続 （基本設定温度「冷房28℃・暖房20℃」）	○	
都市ガスによる二酸化炭素削減		
数値目標	○	【取組結果と評価】 実績：56,570 kg-co2（目標比：64%）
<長期目標（担当：整備部 商品化グループ）> 塗装ブース点検整備と再塗装の低減	○	ブース温度設定や乾燥時間・温度等の徹底管理による品質維持と作業効率の向上
		【次年度の取組】 塗装ブース機器点検による性能維持と作業効率の向上を継続
自動車燃料による二酸化炭素削減		
数値目標	△	【取組結果と評価】 実績(軽油)：353,732 kg-co2（目標比：101%）
<長期目標（担当：ロジスティック部）> 配送システムを利用した積載車配送効率向上の継続と積載車の順次代替を実施する	○	1月に新型積載車を代替え。配送効率及び燃費の向上
・空荷での配送減少と回転数の適正化を図る	△	【次年度の取組】 新型積載車を1台代替え予定（4月） I T化（デジタコ導入）により、更なる配送効率を図る
一般廃棄物の削減		
数値目標	○	【取組結果と評価】 実績：11,705 kg（目標比：74%）
<長期目標（担当：本部関係[本社3F]）> 5 S活動の推進、分別の徹底、シュレッダー廃紙のリサイクル化	○	ペーパーレスによる作業見直し → Gmailやスキャナー等のI Tツールの活用等
・F A Xや紙での作業指示などの見直しによる紙総量減と廃紙の分別徹底会議体をペーパーレス化へ	○	【次年度の取組】 新車工程管理システム活用によるペーパーレス化へ
廃プラの削減		
数値目標	○	【取組結果と評価】 実績：94,800 kg（目標比：86%）
<長期目標（担当：本部関係[本社3F]）> 分別の徹底	○	車両の廃棄シートをプラと金属に完全分別し処分、トヨタ製バンパーは再利用できるよう分別廃棄の継続実施
・車両の廃棄シートをプラと金属に完全分別し処分、トヨタ製バンパーは再利用できるよう分別廃棄の実施	○	【次年度の取組】 現状取組継続
水道水使用の削減		
数値目標	○	【取組結果と評価】 実績：4,339m ³ （目標比：63%）
<長期目標（担当：整備部 新車整備第1グループ）> 連続洗車機の水リサイクル期間の適正化	○	前年数値は地中での水漏れ分が含まれており、目標値から大幅な減となりました。目標値を今年度実績値みに修正
・連続洗車機の循環水⇒清水（せいすい：上水）切り替え頻度の適正化を勧告する	○	【次年度の取組】 現状取組継続
シンナー・塗料の使用量削減		
数値目標	○	【取組結果と評価】 実績：3,321kg（目標比：91%）
<長期目標（担当：整備部 商品化グループ）> 有害性物質の表示徹底、基本作業動作を徹底（容器蓋の徹底 等）	○	1月より大阪トヨタレクサス譲渡に伴い板金塗装車両が減少した為、目標数値を今年度より修正いたします
・有害物の少ない新製品に切り替え実施	×	【次年度の取組】 現状取組継続

<次頁に続く>

取り組み計画	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
製品・サービスへの環境配慮		
数値目標	○	【取組結果と評価】 全体実績達成率：106%
・HV・PHV車両紹介	△	【次年度の取組】 現状取組継続と各店舗での拡販イベント企画立案
・新 車／ボデーコート	○	
・新 車／ガラスフィルム	○	
・既販車／ボデーコート	×	
・既販車／ガラスフィルム	△	
社会貢献		
数値目標	○	【取組結果と評価】
・事業場周辺道路の清掃	○	社会貢献活動に参加 [P11「環境活動等の紹介」参照] （屋外での作業では事故ケガに十分に気をつけ活動する） 河川敷清掃活動・盆踊りうちわ寄与については、コロナ下において活動自粛。
・河川敷の清掃活動参加（大阪府・寝屋川市）	—	
・献血活動 ・納涼盆踊りうちわ寄付	—	
・ペットボトルキャップ回収・寄付	○	

□環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りである。

適用される法規制	適用される事項 (施設・物質・事業活動等)
廃棄物処理法	一般廃棄物、産業廃棄物 (金属クズ、廃プラ、廃ガラス、廃油等)
騒音・振動規制法	空気圧縮機、送風機
消防法 (危険物)	危険物庫、少量危険物庫、泡消化液 (P F O S)
消防法 (設備)	消防設備、自家給油所
フロン排出抑制法	業務用空調機、冷凍機、エアドライヤー、ウォータークーラー、スポットクーラー
労働安全衛生法	有機溶剤作業、粉塵作業、騒音作業、砥石交換、クレーン運転、フォークリフト運転、溶接作業、電動ウインチ操作、乾燥設備、健康診断、塗装作業場環境測定
P R T R法	塗料・シンナー・溶剤等化学物質の取扱量
労働基準法	従業員の雇用、就業規則
省エネ法	建物、設備の改修・建替え
水質汚濁防止法	洗車機、洗車場、油水分離槽、排水水質検査
N O x ・ P M法	排ガス基準適合車の使用
道路運送車両法	整備工場

▽ 環境関連法規制等の遵守状況評価の結果、環境関連法規制等は遵守されています。なお、違反、訴訟等は過去3年間 (あるいはこれまで) ありません。

□緊急事態対応訓練

緊急事態の想定：ハローラック 3 階 食堂炊事場内からの火災発生

■実施日：2021年1月15日（金）

■実施場所：ハローラック（本社・ラック工場）

■参加者：180人

■実施内容：総合訓練（通報、消火、避難）

■評価：初期消火・通報への対応、大声での避難誘導、避難場所への迅速な集合と点呼がスムーズにできた
「○」（避難放送から点呼終了まで約6分（前年7分））

■実施状況の様子



▽ 2021年1月緊急事態宣言により、訓練の時間短縮の為、例年行われている「水消火器での消火器操作訓練」は中止となりました。

□代表者による全体の評価と見直し

実施日：2021年5月24日

管理責任者の報告及び改善への提案		代表者のコメント													
[環境指標の達成状況] 【二酸化炭素排出量（CO2）】 2020年度 実績：707,507kg-CO2（前年比：97%） → 電気・ガス・自動車燃料等のCO2削減取組の総合値 → 整備部では、「新車工程管理システム」導入による効率化 ロジ部では新型積載車代替により効率的な配送に取組みました。（整備部門・ロジ部門ともに完成・配送台数は前年から減少しており、台数減による数値減少も考えられます）		変更の必要性： ☒ 有り ☐ 無し 環境省が推進するカーボンニュートラルについて全員が意識して取組み、今後については新たに設定した環境目標をクリアできるようCO2削減に努める。また、整備部門では連続洗車機入替を検討。入替に伴い作業効率の良い「作業の流れ」への変更も検討。ロジ部門では新型積載車の代替を順次行い、「デジタルタコグラフ」導入の検討と効率的配送を推し進め原価低減を図る。													
[環境取組の達成度と課題、今後の活動予定] 【化学物質使用量削減】 当工場における塗装は溶剤を使用 → パテ・シンナー等は環境負荷の低い製品を継続し使用する。		変更の必要性： ☐ 有り ☒ 無し ブース・塗料は、安全かつ適正な使用や保管管理を行うこと。													
[法規制の変更と遵守状況] 法令順守評価に基づき毎月実施し、外部検査機関による環境・水質検査を実施、各項目において基準値以内で問題はありませんでした。 <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>法令遵守確認</th> <th>結果</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>5月・11月塗装作業場の環境測定実施</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>11月 工場排水水質測定実施</td> <td>○</td> </tr> </tbody> </table>		法令遵守確認	結果	5月・11月塗装作業場の環境測定実施	○	11月 工場排水水質測定実施	○	変更の必要性： ☐ 有り ☒ 無し 法令関係・条例の改正や、その他の要求事項対応を確実に実施し、各部署へ必ず情報伝達する。また「安全」を念頭に社員一人ひとりが日々の業務を丁寧に遂行すること。							
法令遵守確認	結果														
5月・11月塗装作業場の環境測定実施	○														
11月 工場排水水質測定実施	○														
[内部監査の結果と是正状況] 【内部環境監査結果】 ▽ 実施日：2020年7月23日 <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th></th> <th>重大な不適合</th> <th>軽微な不適合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>整備部</td> <td>無し</td> <td>2件</td> </tr> <tr> <td>ロジスティック部</td> <td>無し</td> <td>3件</td> </tr> <tr> <td>本社関係（3F事務所）</td> <td>無し</td> <td>2件</td> </tr> </tbody> </table> ▽ 各部からの是正報告有り			重大な不適合	軽微な不適合	整備部	無し	2件	ロジスティック部	無し	3件	本社関係（3F事務所）	無し	2件	変更の必要性： ☐ 有り ☒ 無し 毎月開催の環境報告ミーティングで、内部環境監査のチェック項目をランダムに聞き取り状況を確認する。また指摘事項への対応と是正の有効性と定着状況を確認継続すること。	
	重大な不適合	軽微な不適合													
整備部	無し	2件													
ロジスティック部	無し	3件													
本社関係（3F事務所）	無し	2件													
[外部からの苦情と対応] 冬季休暇中のラック工場塗床工事による騒音により近隣住民からクレーム。29日に近隣の方へ対応→謝罪及び「工事業者に確認しその後の作業では騒音が出ない旨の報告」今後は事前に工事の連絡を頂きたいとのご指摘を頂きました。		変更の必要性： ☐ 有り ☒ 無し 定期的な近隣住民への自宅訪問活動を継続し、コミュニケーションの継続も図ること。													
[実施体制図変更の必要性]	☒ 有り	☒ 無し													
[環境経営方針変更の必要性]	☒ 有り	☒ 無し													
[総括] 新型コロナウイルス感染症拡大等による経営環境が厳しい中、感染症対策を緩めることなく感染リスクの軽減に取り組む、今後もこれまで同様に環境負荷低減に努め、システム化推進や従業員の多能工化、生産ライン等の改善など業務の効率化を図り無駄を無くしてまいります。															

□環境活動等の紹介

▽ 団体献血実施（実施日：2020年8月6日）参加人数：28人



▽ 事業場周辺道路の清掃（月2回）



<清掃活動の拡大>

2021年5月より下图赤線部分の
溝掃除も月2回実施へ（緑線部
分は、現状の清掃活動・月2回
清掃中）

